



令和元年9月9日

各位

会社名 株式会社きんえい
代表者名 取締役社長 田中 耕造
(コード番号 9636 東証第2部)
問合せ先 取締役経理部長 好井 裕一
(TEL. 06-6632-4553)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成31年3月14日に公表いたしました令和2年1月期第2四半期累計期間(平成31年2月1日～令和元年7月31日)の個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 令和2年1月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成31年2月1日～令和元年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,780	百万円 110	百万円 110	百万円 70	円 銭 25.10
今回修正予想(B)	1,957	185	189	127	45.54
増減額(B-A)	177	75	79	57	
増減率(%)	9.9	68.2	71.8	81.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成31年1月期第2四半期)	1,760	120	128	86	30.84

2. 修正の理由

シネマ・アミューズメント事業では、例年ヒット作品が少ない5月の連休明けから7月の夏休みに入るまで期間においてヒット作品に恵まれ、第2四半期の売上高は第1四半期に比べても増収となりました。また、不動産事業でも、期を通じて賃貸ビルの入居率は高い水準を確保できたため、両事業を合わせた会社全体の売上高は当初の予想を上回る見込みであります。一方、売上原価は、映画興行収入の増に伴いフィルム料は相応に増加しましたが、諸経費はほぼ想定どおり推移した結果、各利益ともに、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、修正が必要となった時点で速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

また、第2四半期累計期間の決算短信は、令和元年9月12日(木)発表予定であります。

以上